

いこまタウン ミーティング

令和8年5月30日

南コミュニティセンター
せせらぎ



本日の流れ

I 市長からまちづくりについての説明

1. 生駒市の現状と課題
2. 生駒市のまちづくりビジョン
3. ビジョンを具体化する令和8年度予算

II 質疑応答

I 市長からまちづくりについての説明



1. 生駒市の現状と課題



いきなりですが、皆さんに質問です！

生駒市で直してほしい、何とかして
ほしいことはありますか？

●少子化の急激な進行

出生者数

1,011人(2013年)



584人(2024年)

(出典：奈良県保健衛生統計)

●高齢化の急速な進行

高齢化率

25.4%(2015年)



29.9%(2025年)



37.6%(2050年推計)

(出典：生駒市人口ビジョン改訂版)

特に高齢者単身世帯が増加

4.4%(2000年)



9.1%(2010年)



12.4%(2020年)

(出典：国勢調査)

● 共働き世帯の増加

- 25～39歳の女性労働者が大幅に増加
- それでも本市の女性就業率は全国や奈良県平均より低い
- 創業・兼業・テレワークなどの多様な働き方、地域での就労などの確保

● 域外就業率が**高い** (働く場があれば地元に残りたいニーズに応えられていない)

生駒市 51.5% (全国4位)

王寺町 41.86%

三郷町 40.91%

(出典：令和2年国勢調査 就業状態等基本集計)

● **地震**に対する備え

- 能登半島地震等による市民の防災意識の高まり、不安の拡大
- 南海トラフ地震（30年以内発生確率80%程度）、生駒断層帯
- 自助、共助の強化が重要

➡ 防災リュックなどの整備率 30%以下

課題に対応するための

2. 生駒市のまちづくりビジョン



新しい働き方を増やす

地域で働く人の増加につなげる

〔起業・創業、副業支援、ワークシェアリング、
女性活躍、農業、観光、ニュータウン再生等〕

▶ 12万人全員をアントレプレナーに！

住む

豊かな住まい方を広げる

住まい方を地域課題の解決や
新たな価値創造につなげる

〔まちのえき、官民連携での子育て環境づくり、
地域共生社会、脱炭素、スマートシティ等〕

▶ 誰一人「お客さま」にしない！

働く

楽しむ

多様な暮らし方を楽しむ

豊かな自然、公園、文化資産、公共施設など
地域資源の活用によって、滞在空間の増加に
つなげる

〔芸術祭や音楽祭、公園利活用、市民活動等〕

▶ まちをセルフプロデュースする！

多様な生き方・暮らし方が叶う豊かなまちに転換

生駒市のVision「自分らしく輝けるステージ・生駒」

「ベッドタウン」を卒業し、次の50年に向けた「令和時代の住宅都市」の実現

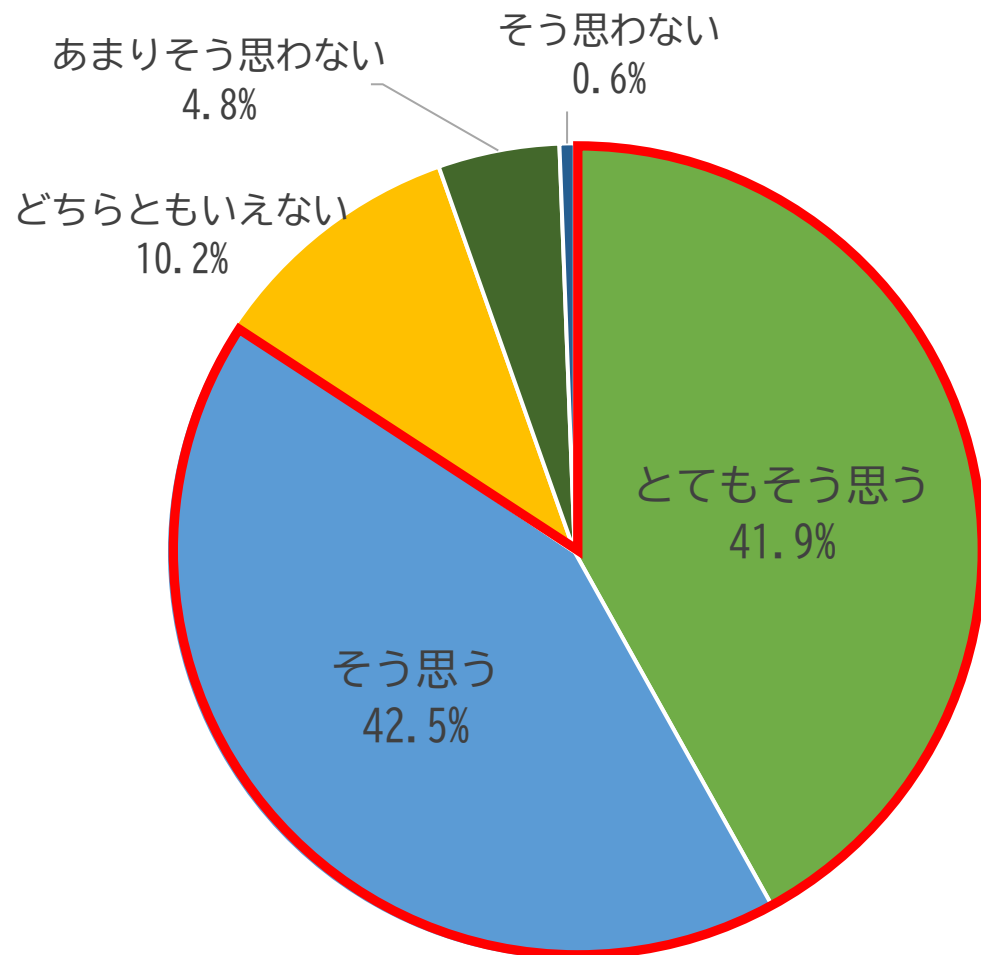
3. ビジョンを具体化する令和8年度予算

1. こども・子育て支援、教育
2. 生涯学習・スポーツ
3. 地域共生社会の実現
4. 経済の活性化・多様な働き方
5. 防災対策
6. まちの拠点形成
7. デジタル化・行財政改革など
8. 南地区のトピックス



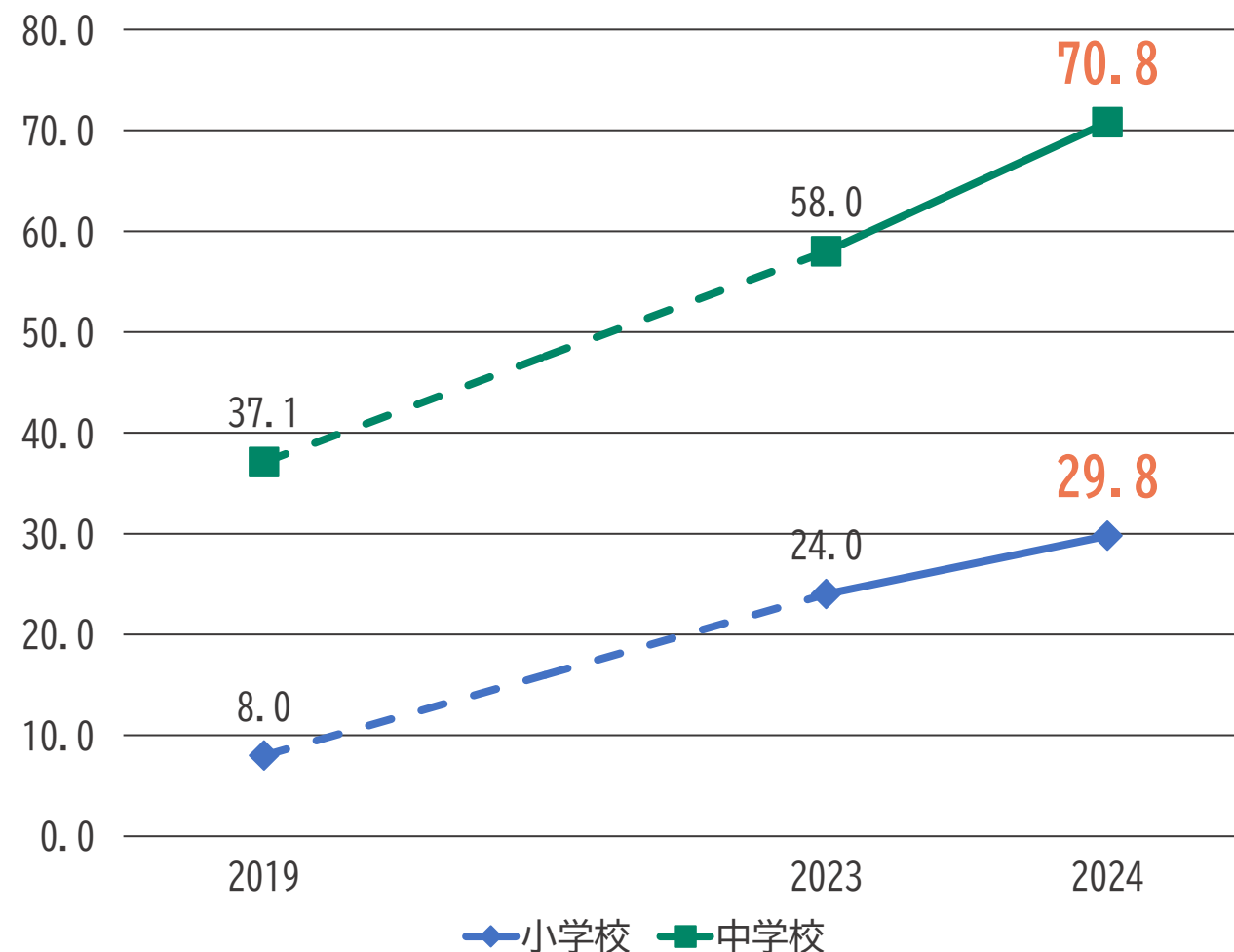
| 1. こども・子育て支援、教育

こどもの発達の度合いが
気になる保護者の割合



(出典：国立障害者リハビリテーションセンター
「発達が気になるお子さんの養育に関するアンケート調査結果(2022年)」)

不登校者数（人口千人あたり）



(出典：教育指導課資料)

| 1. こども・子育て支援、教育

■ 5歳児健康診査の試行実施

R7年度にモデル事業として実施していた幼稚園・保育所への巡回方式を拡充するとともに、新たに集団方式による健診を試行実施

■ たっちの短時間預かりの拡充

こども家庭センターで実施している短時間預かりについて、北コミュニティセンターISTAはばたきにも拡充し、子育ての負担を軽減

※ファミリー・サポートの援助会員を募集中

■ 市立幼稚園での弁当給食の導入

■ 公立幼稚園再編に係る基本方針の推進と壺分幼稚園のこども園化

- ・ 桜ヶ丘幼稚園 … (仮称)桜ヶ丘こども園の設置に向けた測量等の実施
- ・ なばた幼稚園 … 敷地内での私立保育園等分園設置事業者の募集
- ・ あすか野幼稚園 … 周辺園との統合またはこども園化に向けた協議
- ・ 壺分こども園 … 令和9年度の開園に向けて、新園舎の建設工事を実施

| 1. こども・子育て支援、教育

■子育て世帯訪問支援事業

これまで実施していた「産前産後家事支援サービス」を引き継ぎ、家事・育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭や妊産婦、ヤングケアラーなどのご家庭にも支援員を派遣

■こどもの居場所づくり事業

こども食堂の開設・運営につなげる実践的な連続講座の開催と
伴走支援

学校の空き教室を活用した校内カフェや公共施設等を活用した
出張ユースセンターを試行的に実施し、ユース世代の居場所づ
くりを推進

■学童保育の充実

ニーズが高い夏期休業中の保育に対応するため、民間事業者のサマー学童開所に対する支援を
実施



| 1. こども・子育て支援、教育

■ 多様な学びの場の確保

- 学びの多様化学校（北新町）のR9年度からの設置に向けた整備工事とカリキュラムの検討
 - ✓ 教室らしくない教室、自分のペースで学べる空間
 - ✓ 1人1人に配慮した柔軟なカリキュラム



- 昨年度に市立小・中学校10校に設置した校内サポートルームを全校に設置

多様性を尊重し、一人ひとりが安全・安心に学べる場

➡ 探求的な学びや多様な活動を通して、こどもたちの自己肯定感を高め、主体性を育む



| 1. こども・子育て支援、教育

■ スクールソーシャルワーカー活用事業

社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーが各校を巡回し、不登校やいじめ、虐待、貧困などの課題を抱える児童生徒や家庭を、学校・家庭・地域の関係機関と連携して支援



■ 学校作業療法士配置実証事業

学習・生活に支援を必要とする児童に対して、週1回モデル校2校に作業療法士が巡回し、児童に即した具体的な支援方法を助言・指導

■ 熱中症対策センサーの導入

より一層の熱中症対策を推進するため、屋内外の環境数値を可視化することで、こどもたちの安全確保を迅速に図る

■ 学校給食費の無償化

国の交付金も活用しつつ、不足分を市が負担することにより、市立小・中学校の給食費無償化を実施

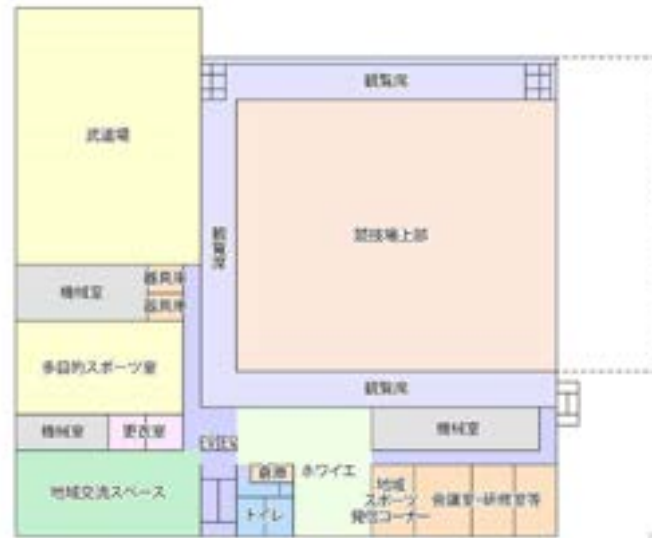
2. 生涯学習・スポーツ

■総合公園スポーツ施設リニューアル事業

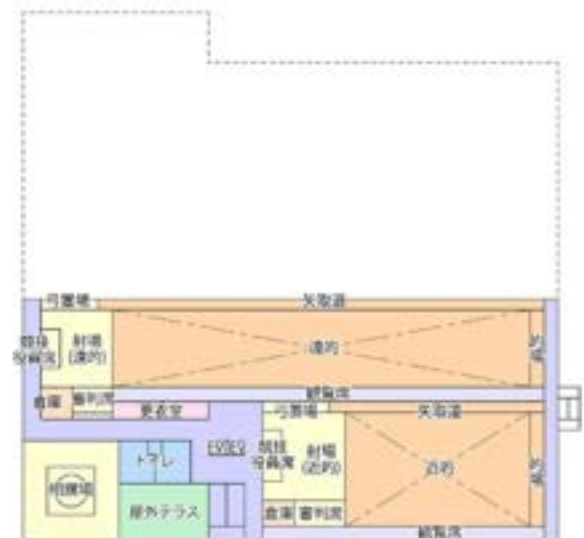
現在の総合公園体育館の老朽化が著しく進行しており、令和13年度に開催予定の国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会奈良大会での会場利用を見据えて改築



1階 平面図



2階 平面図



3階 平面図

※各図面については、あくまでも現在の導入機能を仮配置したイメージで、今後変更があります。

- ◆ 全国・県大会レベルの室内競技の大会開催が可能な競技場等
- ◆ 障がいがある方も安心して安心して利用できるスポーツ空間
- ◆ 様々なアクティビティに活用しやすい多目的空間
- ◆ 学校の水泳授業でも利用も含め、市民が広く利用可能な屋内温水プール
- ◆ 災害時の救援物資の集積・分荷機能を果たす空間

| 2. 生涯学習・スポーツ

■ 図書館本館リニューアルグランドオープン



↑ パフォーマンススペース

↓ ひよこコーナー



3. 地域共生社会の実現

■医療のまちづくりビジョンと市立病院の増床

- 社会情勢の変化を見据え、本市の医療・介護・教育など幅広い分野の関係者が連携し、**市民が安心して生活できる環境を作る**ため、2月に策定
- 令和9年4月からの**増床分20床**の運用開始を目指し工事着手



■終活等支援事業

身寄りのない高齢者が増加傾向にある中、終活の目的及び意義の啓発や、介護・医療、資産管理（家・車・お墓など）について、支援する仕組みの構築を検討

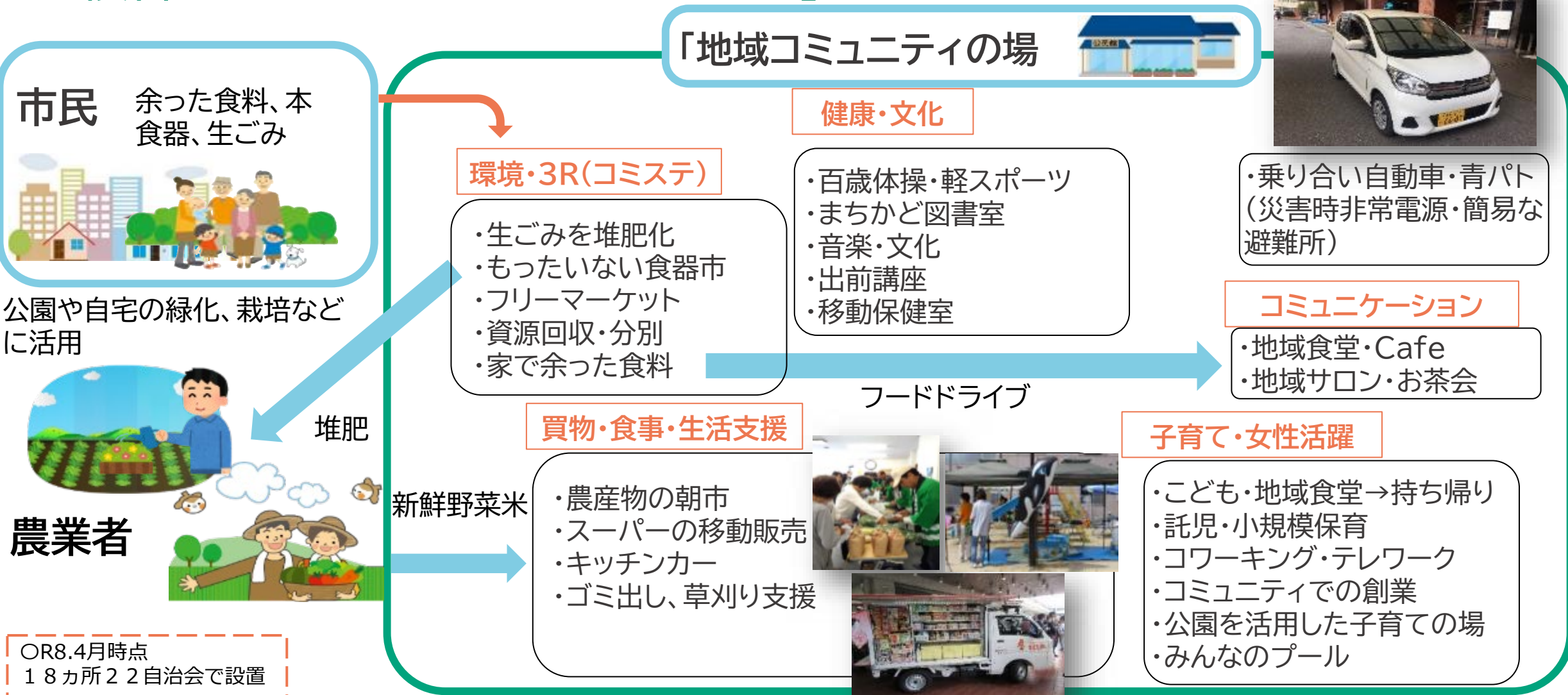


■介護予防を軸とした機能集約による多世代交流施設の整備

RAKU-RAKUハウスと近鉄百貨店6階のiスクエアを併せて、多世代交流事業や介護予防教室等も実施可能な新たな施設として整備

3. 地域共生社会の実現

■ 複合型コミュニティ「まちのえき」



地産地消、移動支援、地域活性化を、地域の協創で実現！

3. 地域共生社会の実現

■新しい地域コミュニティ構築推進事業

地縁による活動やテーマ型活動への支援を継続しながら、**誰もが日常の中で身近な地域とつながることができる多層なコミュニティ**を構築

① 活動の「見える化」

デジタル技術を活用して地域で行われている活動を「見える化」することで、市民が「どこで何が行われているか」を簡単に把握し、気軽に参加したり・活動を生み出したりできる仕組みを整備



② 新たな場の創出

関心やテーマを入口として、無理のない形で参加できる機会を創出し、参加者同士のつながりができ、継続する仕組みを設計



③ 中間支援機能の設計・構築

オンライン・オフラインの取組を通じて、事業終了後も継続運営できるよう中間支援の機能を手引書としてまとめる



4. 経済の活性化

■テレワーク＆インキュベーションセンター（IKOMA-D0）元町オープン

谷田町（もやい館）にあったIKOMA-D0（イコマド）に加え、新たにセイセイビル1階にも整備し、インキュベーション（起業支援）、コワーキング（協働）の拠点に



■IKOMA LOCAL BUSINESS HUB（ILBH）

- ・ 創業・第2創業、パラレルキャリア（複業）の支援
- ・ 3年連続で**100名以上**の受講希望者
- ・ これまでで**5件**の起業・創業につなげる



■市内中小企業の人材確保等総合支援事業（IKOMA FOSTER LINK）

- ・ 深刻な人材不足を課題として抱えている市内中小企業を総合的に支援
 - ✓ 専門人材とのマッチング支援
 - ✓ 人材採用・人材育成にかかるコストへの補助金／賃上げした事業者への補助金

5. 防災対策

■避難所レイアウト作成研修の実施

自治会等と連携し、大規模災害時に生活を営む避難所ごとの配置レイアウトを作成することで、地域防災力を向上

■低軌道衛星通信サービスの導入

災害時の通信手段の確保のため、市役所庁舎及び消防本部庁舎に低軌道衛星通信サービスを導入し、大規模災害対応能力を向上



■避難者把握システムの本格導入

昨年度の総合防災訓練の避難所宿泊訓練で実証実験を行った避難者把握システムを本格導入し、災害対応業務のDXを推進



■段ボールベッド、パーティション等の避難所資機材の充実

5. 防災対策

■避難所レイアウト作成研修の実施

自治会等と連携し、大規模災害時に生活を営む避難所ごとの配置レイアウトを作成することで、地域防災力を向上

■低軌道衛星通信サービスの導入

災害時の通信手段の確保のため、市役所庁舎及び消防本部庁舎に低軌道衛星通信サービスを導入し、大規模災害対応能力を向上



■避難者把握システムの本格導入

昨年度の総合防災訓練の避難所宿泊訓練で実証実験を行った避難者把握システムを本格導入し、災害対応業務のDXを推進

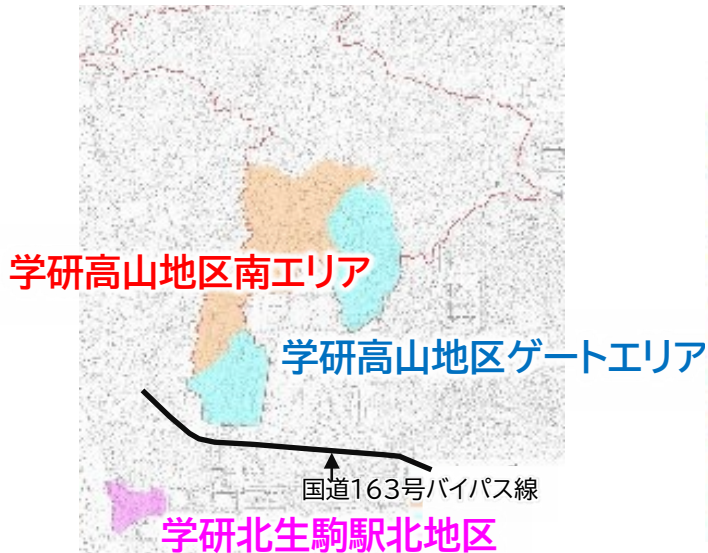


■段ボールベッド、パーティション等の避難所資機材の充実

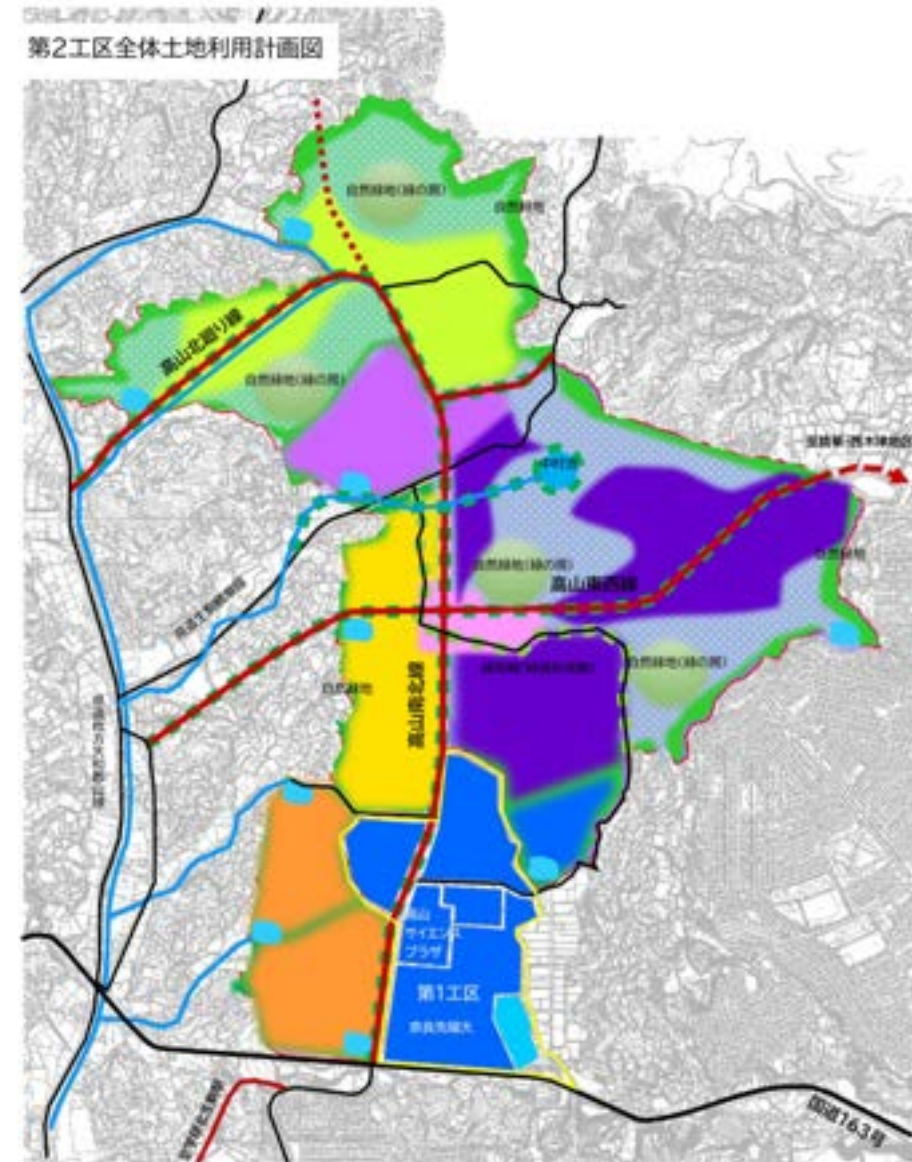
6. まちの拠点形成

■学研高山地区第2工区のまちづくり

- 学研高山地区南エリア
R 8 年度末の**土地区画整理組合設立**を目標に事業計画・都市計画案の作成
- 学研高山地区ゲートエリア
土地区画整理準備組合の設立に向けてまちづくり協議会の運営と事業計画案の作成
- 学研北生駒駅北地区
上町芝線の予備設計等



土地利用種別	土地利用種別	土地利用種別
自然活用型施設用地	研究支援・研究型産業施設用地	骨格道路 (補助幹線道路) (区画道路) (歩行者専用道路) 既設道路
自然活用型産業施設用地	都市機能施設用地	公園・緑地
計画建設用地(自然的)	住宅用地 (低層・中高層)	自然緑地 (グリーンインフラ)
文化学術研究施設用地		河川・農業用水路
都市型産業施設用地		既存池
計画建設用地(都市的)		調整池 (グリーンインフラ)



6. まちの拠点形成

■生駒駅南口周辺のまちづくり

<将来像>

文化や商い、暮らしが息づき、すごしやすく関わりやすいまち

①都市空間



②暮らし



協創・対話

誰もが気軽に参加でき、
関わり、みんなで取り組む

③商い・観光



④子ども



まちづくりに関わる地域団体等（商店街・自治会・商工会議所・金融機関）・有識者（奈良先端大）・生駒市が「**生駒駅南口エリアプラットフォーム**」を設立し、公民連携で魅力創出や価値向上を推進

6. まちの拠点形成

■プラットフォーム等によるこれまでの取組

- 道路の**新たな活用方法（くつろぎ・賑わい）**を拓く社会実験



- 遊休不動産を活用した**チャレンジショップ**の仮設



- **歩車分離**をして安全で歩きたくなる空間創出に向けた社会実験



6. まちの拠点形成

■今年度(令和8年度)の取組み

“居心地が良く歩きたくなるまちなか” に向けて

- 生駒駅～宝山寺周辺の**公共空間再整備**のための基本構想策定
宝山寺参道・さくら通りをはじめとする駅周辺の道路空間等の整備に関する基本構想
- 街なみ環境整備計画・景観計画に基づくハード整備に向けた設計等
- 参道沿いの住宅等の改修に要する経費を助成し、参道の趣を活かした街なみを整備
- いこみなチャレンジ参加者等によるまちづくり組織構築を支援



6. まちの拠点形成

■生駒山を通じた観光振興

生駒山の「ミシュラン・グリーンガイド」の星獲得

- 東大阪市、観光関連団体、近鉄GHD(株)、近畿日本鉄道(株)、生駒市で構成する「**生駒山ブランド推進協議会**」の運営
＝ 生駒山の魅力を協働で開発

連携施策の第一弾「**生駒山かき氷プロジェクト**」をスタート

生駒山周辺や沿線エリアの飲食店・観光施設が連携し、生駒山にちなんだオリジナルかき氷を提供し、夏の観光資源として展開

- 生駒山上遊園地沿いの市道の美装化

生駒駅、宝山寺、遊園地駐車場から登ってきた人が最後に通る市道を美装化し、山頂への「最後の一步」を特別な体験にする

- 生駒山周遊のための道標設置

生駒市・東大阪市の両市で統一感ある道標を整備



生駒山フォトスポット新設(R6)



※本イメージはAIによる作成例です。
実際の施工とは仕上がり異なる場合があります。

| 6. まちの拠点形成

■宿泊施設の充実

- 本市の魅力を発信し、**宿泊施設(ビジネスホテル、旅館など)**を誘致
(候補地：生駒駅前、学研高山第2工区、宝山寺参道、生駒山上)



■観光案内所「IKOBA」を核とした魅力発信

生駒駅北口直結の「ベルテラスいこま」3階に、**観光案内とカフェ・バー機能**を併せ持った「**IKOBA (イコバ)**」が令和7年8月にオープン

観光案内業務等を通じて市の魅力を発信

IKOBA 



| 6. まちの拠点形成

“いこみなエリア”と“生駒山”の将来イメージ

COOL JAPAN AWARD



| 6. まちの拠点形成



生駒山を
西の高尾山に

7. デジタル化・行財政改革など

デジタル化

■ 窓口DXの推進

- ・ 「書かない・待たない・回らないワンストップ窓口」の実現を目指して、デジタル技術を活用した業務フローの再構築を実施

■ AI活用と行政手続のオンライン化

- ・ 行政事務のあらゆるところで、セキュリティ・安全性が確保された生成AIを活用し、事務を効率化
- ・ 222件、24%の手続をオンライン化し、今後も順次拡大

■ オンライン来庁予約システムの導入

- ・ 市役所窓口の一部の手続について、オンラインによる来庁予約を受け付けると、窓口で優先的に案内し、待ち時間の短縮が可能



↑こちらからアクセス

SDGs

■ 脱炭素住宅都市モデルの実現（脱炭素先行地域）

- ・ 国からの補助金を活用したモデル地区を公募により拡大し、既存住宅地、公共施設、自治会集会所及び民間施設に太陽光発電設備と蓄電池の設置促進
- ・ 災害時の防災対策にもつながる

8. 南地区のトピックス

■生駒南小学校・中学校整備事業



次期学習指導要領の議論では、「深い学び」「多様性の包摂」「余白の創出」を柱に、「学びと学校の在り方」の再構築が示されている。
※教育課程企画特別部会 論点整理 を参考

①深い学びの実装



主体的・対話的で深い学びを一層具体化

②多様性の包摂



多様な子どもを誰一人取り残さず包摂する

③余白の創出



教職員と子どもの双方に「余白」を生み出す

④柔軟な教育課程



裁量的な時間や教科横断を含む柔軟な編成

⑤情報活用能力・探究



探究的な学びとデジタル学習基盤を強化



生駒南義務教育学校の位置づけ

これらの方向性を「施設整備」「教育課程」「地域連携」の三位一体で先行的に具体化する学校として構想



単に「新しい義務教育学校」ではなく、次期学習指導要領を先取りする先行モデルに

8. 南地区のトピックス

生駒南義務教育学校では、自由進度学習と探究的な学びを一体的に推進します



南小中のろう下スペース（対話を促進する空間設計）

国の学習指導要領の方向性

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通じ、資質・能力の育成について、一層の具現化・深化
- ・言葉を用いて思考を深め、他者と関わり協働する力を育成し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実

生駒南義務教育学校

- ・自由進度学習と探究的な学びを一体的に推進し、子どもが学び方・進め方・表現方法を選択できる学習環境を整備

現在の進捗（実践・設計）

- ・生駒南小学校等で自由進度学習を実践。市全体でも教育フォーラム、集合研修、授業改善支援を通じて、子ども主体の授業づくりを推進

8. 南地区のトピックス

生駒南義務教育学校では、多様な学び方・過ごし方を支える環境づくりを進めます



南小中の教育のイメージ（少人数で集中するためのデン）

国の学習指導要領の方向性

- 子どもたちの多様性を包摂することで、一人一人の意欲が高まり、可能性が開花し、個性が輝く教育を実現
- 障害や認知特性等、多様な実態を踏まえた調整を行い、全ての活動の基盤として心理的安全性を確保

生駒南義務教育学校

- 校内サポートルーム、デン、カームダウンスペース等を含め、通常の教室だけではない多様な学び方・過ごし方を支える空間を整備

現在の進捗（実践・設計）

- ほっとルーム、校内サポートルームを展開し、不登校傾向や支援を要する子どもへの校内支援拡充
- 新校においても、多様な子どもが安心して過ごせる居場所と学びの場を設計に反映

8. 南地区のトピックス

子どもがじっくり学び、教職員が授業改善に向き合える学校運営を目指します

国の学習指導要領の方向性

- ・ 持続可能な在り方を追求し、教職員と子どもの双方に「余白」を創出することで、豊かな学びにつなげる。学びをデザインする高度専門職としての教職員を支え、総合的な勤務環境整備と柔軟な教育課程による余白を確保

生駒南義務教育学校

- ・ 子どもについては、探究や対話、興味・関心に基づく学びにじっくり向き合える時間を確保
- ・ 教職員については、授業改善・研修・協働的な教材研究に向き合える時間を創出。これらを実現するため、教育課程の柔軟化を見据えた特例校制度の申請に向け、準備中

現在の進捗（実践・設計）

- ・ 市全体で勤務時間適正化会議、伴走・越境型研修等の施策を進めており、教職員が学び合い、実践を更新する基盤を整備。新校では、柔軟な学習空間と学校運営を組み合わせ、学びの質と持続可能な運営を両立することを目指している。

南小中の教育のイメージ（空間の余白）

8. 南地区のトピックス

生駒南義務教育学校では、1年生から9年生までを見通した柔軟な教育課程を編成します



南小中の吹抜けスペース（異年齢交流と探究・対話）

国の学習指導要領の方向性

- 標準授業時数の弾力化、調整授業時数、裁量的な時間等により、学校や児童生徒の実態に応じた柔軟な教育課程編成を促進
- 裁量的な時間を、児童生徒の個性や特性、実態に応じた学習支援、個人探究を伴う体験活動等に活用

生駒南義務教育学校

- 義務教育学校の特性を活かし、1年生から9年生までを見通した教育課程を編成
- 異年齢・異学年の学び合い、新教科、地域課題と結びついた探究的な学びを検討

現在の進捗（実践・設計）

- 基本設計と並行して教育課程・学校運営の具体化を検討
- 市内で進めているイエナプラン教育の研究・実践も参考にしながら、異年齢の関わりや探究的な学びのエッセンスを取り入れ、小中間の接続を滑らかにする継続的な学びを構想

8. 南地区のトピックス

生駒南義務教育学校では、情報活用能力と探究的な学びを地域とつながる学びへ発展させます



南小中の1F地域交流スペース（地域交流・キャリア教育）

国の学習指導要領の方向性

- ・ 情報活用能力を、各教科等も含めた探究的な学びを支え、駆動させる基盤として位置付け
- ・ 情報技術を活用して、実生活・実社会の課題を探究的に解決する内容の充実

生駒南義務教育学校

- ・ デジタル学習基盤を活用しながら、教科横断的な探究や、地域課題・社会課題と結びついた学びを展開

現在の進捗（実践・設計）

- ・ 地域や保護者、事業者とのつながりを体感できる機会や交流しやすい環境を施設設計に反映
- ・ 南コミュニティセンターとの連携も含め、学校と地域が相互に学び合う場を構想

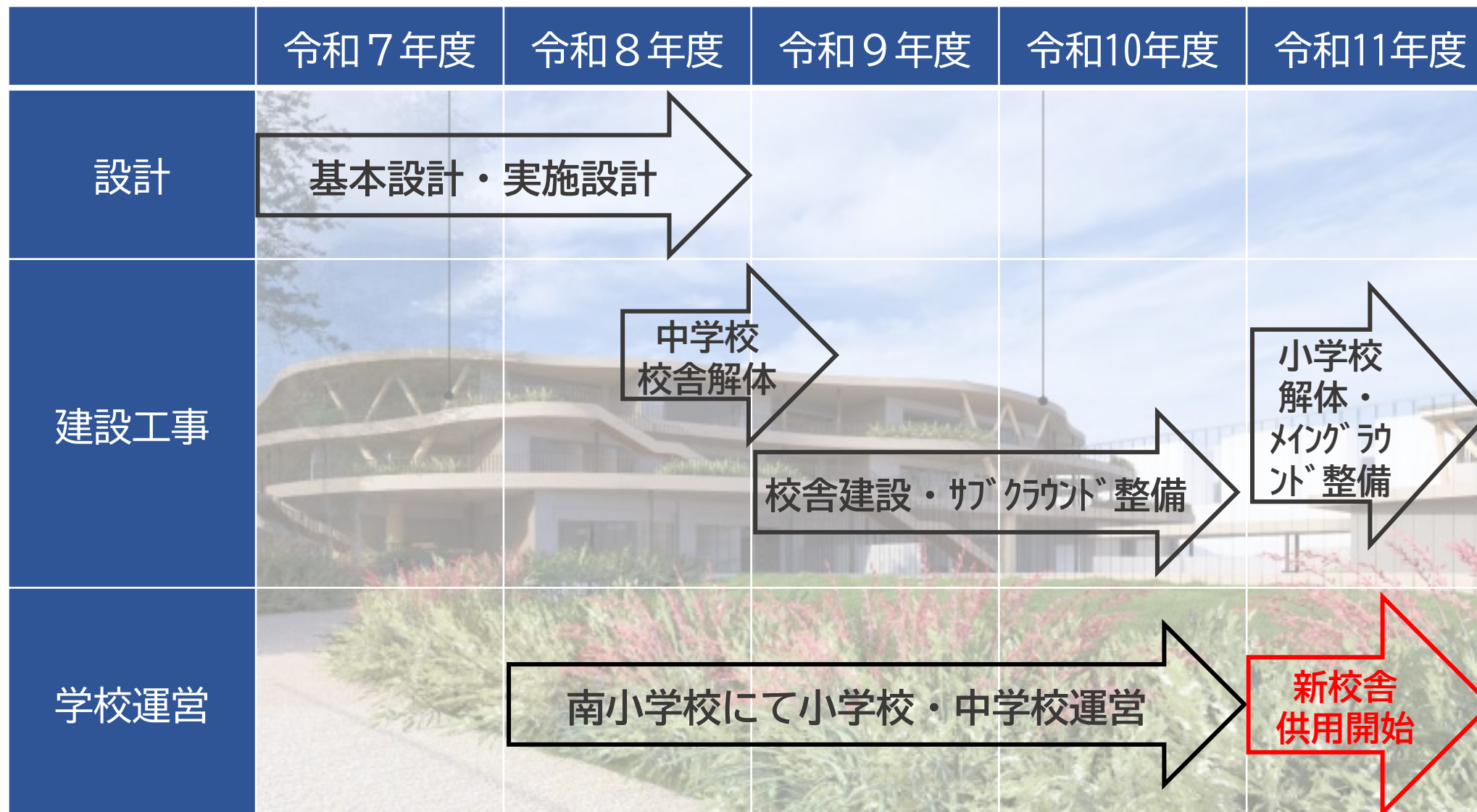
8. 南地区のトピックス

生駒南義務教育学校を核とした地方創生のまちづくりを進めます



8. 南地区のトピックス

<今後のスケジュール>

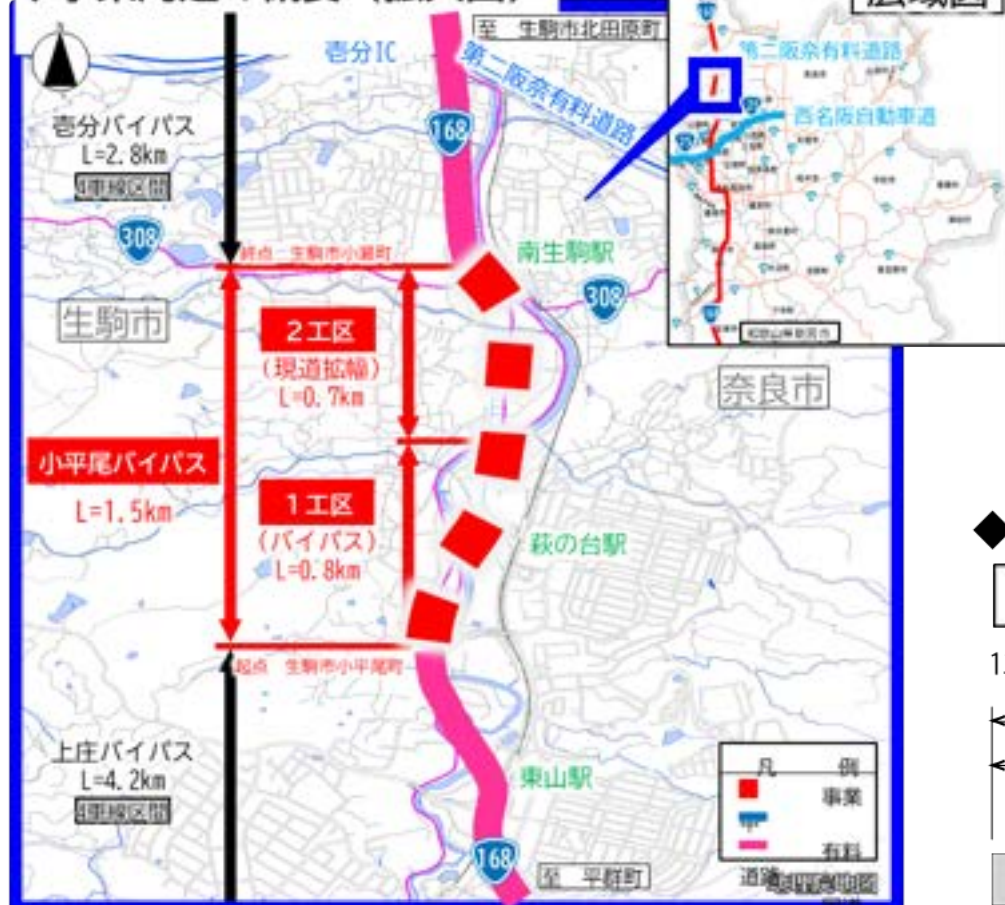


8. 南地区のトピックス

■ 国道168号 小平尾バイパス整備事業について

- 小平尾バイパスは、国道168号の生駒市小平尾町から生駒市小瀬町に至る約1.5kmの事業中の区間
(1工区 (バイパス区間) : 0.8km、2工区 (現道拡幅区間) : 0.7km)
- 小平尾バイパスの整備により、壺分バイパスや上庄バイパスとともに、第二阪奈有料道路や国道25号へのアクセスが向上し、地域の交通環境の改善や生活利便性の向上が期待

◆ 事業周辺の概要 (拡大図)



広域図

◆ 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全性の向上
- 地域の活性化
- 救急救命活動の支援

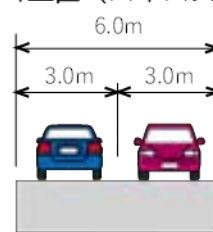
◆ 計画諸元

事業区間	奈良県生駒市小平尾町 ～生駒市小瀬町
事業延長	1.5km
構造規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
車線幅	3.25m
道路幅員	23.0m

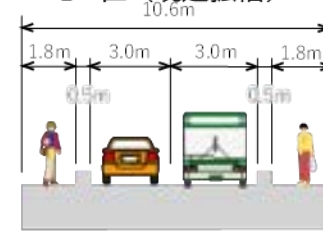
◆ 標準断面図 (計画)

現況

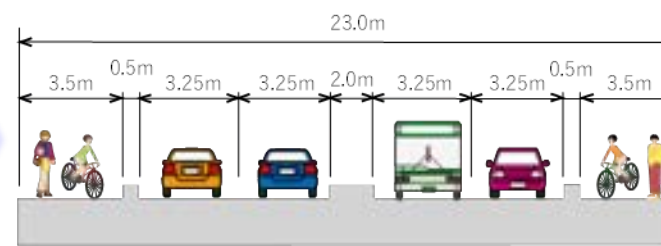
1工区 (バイパス)



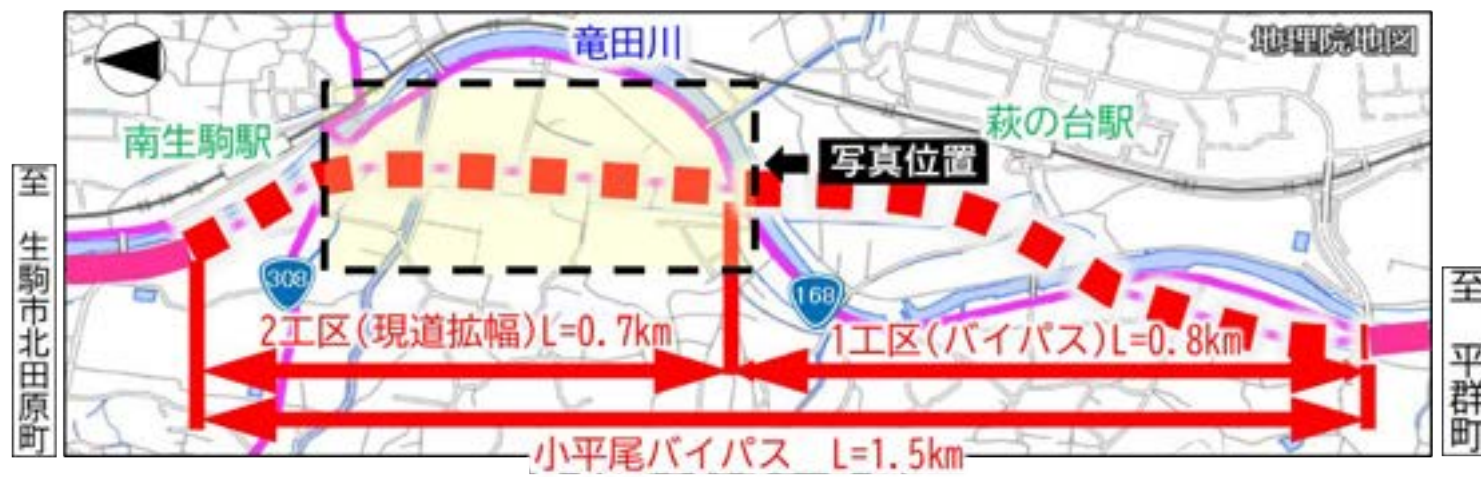
2工区 (現道拡幅)



計画



| 8. 南地区のトピックス



| 8. 南地区のトピックス

■ 工事進捗状況と今後の予定

【2工区 現道拡幅 L=0.7km】

③ 新神田橋A1橋台工、市道迂回路設置工



④ 新神田橋A2橋台工



< 今後の予定 >

- 新神田橋の上部工
- 車線切り替えのための前後の整備工事

| 8. 南地区のトピックス



| 8. 南地区のトピックス

■ 工事進捗状況と今後の予定

【1工区 バイパス区間 L=0.8km】



< 今後の予定 >

- 新乙田橋～新小平尾橋の街渠・擁壁工事を予定
- 同区間での水道との調整が整えば舗装工事を実施



- 工事中箇所
- 工事予定箇所
- 部分的な完成区間
- 現道(国道・市道)
- ⇐ 写真撮影方向

| 8. 南地区のトピックス

■ 近鉄南生駒駅周辺のバリアフリー化事業



主な整備内容

- ◆ 跨線横断歩道橋の整備
→ 駅構外の地下通路を廃止し、エレベーター付きの跨線横断歩道橋を新設
- ◆ 駅舎の地平化事業
→ 地下改札を廃止し、新たに東西両ホームの地上部に改札口を新設
- ◆ 多機能トイレの新設

| 8. 南地区のトピックス

南生駒駅周辺整備イメージパース（案）



<令和8年度>

◆乗降帯、歩行者空間整備

- ・駅前道路整備検討
- ・用地調査

◆地上部改札口の設置

<令和9年度>

◆跨線横断歩道橋整備

- ・工事着手

8. 南地区のトピックス

■ (仮称)小平尾河川親水公園整備

奈良県の竜田川河川整備事業に伴い
小平尾町地内において事業用地を活用した親水公園・広場整備を検討

令和10年度以降に整備予定



ご清聴ありがとうございました



II 質疑応答



質問ツール「Slido」の使い方

5/30 (土) 南コミ

アカウント不要、アプリ不要でご質問いただけますのでご活用ください。
まずは下の二次元コードをスマートフォンなどのカメラで読み込んでください。

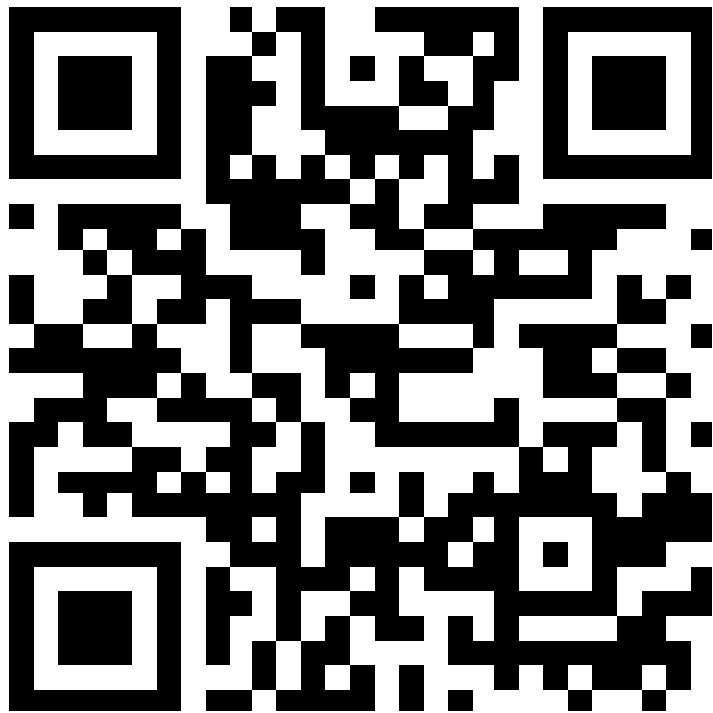
A screenshot of the Slido mobile app interface. At the top is a blue header with a back arrow and the text 'Ask the speaker'. Below this is a text input field with the placeholder 'Type your question' and a character count '160'. A red box highlights this input field, with a red circle containing the number '1' next to it. Below the input field are three buttons: 'Improve' (with a star icon), 'Shorten' (with a scissors icon), and a right arrow icon. Below these is a text field with a person icon and the placeholder 'Your name (optional)'. To the right of the name field is a green 'Send' button, which is circled in red with a red circle containing the number '2' next to it.

①にご意見等を入力します
(日本語で入力できます)

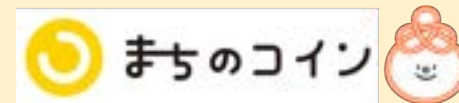
②ご意見等を入力したら、
「send」を押すと質問が事務局
に送信されます

アンケート回答にご協力お願いいたします

アンケート回答はこちら



まちのコイン「くるり」
ポイント獲得はこちら



本日はご来場いただきありがとうございました。